

平成 27 年度 SPARC Japan の活動計画（案）について

1. 第 4 期の基本方針の確認

「国際連携の下でのオープンアクセスの推進、学術情報流通の促進および情報発信力の強化」に取り組むことを基本方針とする。第 4 期は、大学図書館と研究者の連携を促進するとともに、オープンアクセスの課題を把握し、大学等のとるべき対応について検討し、これに関するプロジェクトを推進する。具体的には次の 3 つの事業を計画する。

- (1) 国際的な OA イニシアティブとの協調
- (2) オープンアクセスの課題への対応と体制整備
- (3) オープンアクセスに関する基礎的情報の把握

2. 平成 27 年度の具体的なプロジェクト

(1) SPARC Japan セミナー (1) (2) への対応

アドボカシー活動として、SPARC Japan セミナーを 4 回実施する。

初回は現状を概観するようなセミナーをおこなう。

年間通じた企画 WG (5~6 名) を設置し、第 2 回(7 月)以降の企画を検討する。

各回の企画・実施補助は適宜追加可能とする。

回次	日時	テーマ（案）
1	5 月後半	<ul style="list-style-type: none"> ・学術情報流通基盤に関する現状と課題について俯瞰するようなテーマ ・諸外国におけるオープンアクセスに関連する政策、方針の最近の動向 ・日本におけるオープンサイエンスの推進におけるオープンアクセス、オープンデータの基本的考え方 ・オープンアクセスとオープンデータの関係
2	7~8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究データのオープン化について、海外の大学・機関の取り組み事例 ・社会科学におけるデータ、Journal の状況等 ・研究データマネジメントにおける図書館の役割 (研究データマネジメントプラン作成ワークショップ) ・データの「記述」、「ディスクリプタ」とは何か ・ICSU-CODATA のデータ引用に関するワークショップとの連携

3	10月19～23日	<p>オープンアクセスサミット 2015 (Open for Collaboration)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国におけるオープンアクセスに関連する政策、方針の最近の動向 ・ フランスにおけるオープンアクセスの動向 ・ 日本の学協会のオープンアクセスの現状と課題 (大学図書館向け) ・ APC に関する助成団体について、海外の事例 (例えば英国の JISC) 紹介 ・ 分散リポジトリ連携か、集約型リポジトリかを中心としつつ、SHARE/CHORUS との関係論じる ・ STM による Article sharing guidelines と日本の将来における資源共有の方向性 ・ SPARC/COAR 連携への日本の対応
4	12～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「研究力強化」 「大学ランキングのアップ」 ・ 図書館と URA のコラボレーション ・ 図書館からの学術出版の最近の動向 ・ 学会における学術情報発信

・なお、2015年のSPARCによるOpen Access Weekのテーマは“Open for Collaboration.”に決定している。

(2) 国際的なイニシアティブへの参加支援 (1) (2) への対応

- ・ SCOAP³、arXiv.org、ORCIDの日本の連絡調整の役割を継続する。
- ・ 機関リポジトリ推進委員会と協調しつつ、SPARC、COAR等の国際イニシアティブとの関係を継続する。

(3) 海外動向調査 (1) (3) への対応

2015年に予定されている下記の国際会議に参加し、情報収集を行う。

- ・ Joint SPARC-COAR conference
4月14-16日 Porto, Portugal
- ・ OR2015 (The 10th Annual International Conference on Open Repositories)
6月8-11日 Indianapolis, USA
- ・ ETD 2015 (The 18th International Symposium on Electronic Theses and Dissertations)
11月3-6日 Jawaharlal Nehru University (JNU), New Delhi, India
- ・ Berlin 12 (Open Access conference in the Berlin series)
10月26-27日 Max Planck Society, Berlin, Germany

(4) オープンアクセス支援のパイロットプロジェクトの推進 (2) (3) への対応

- ・欧州原子核研究機構 (CERN)、高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 及び国立情報学研究所 (NII) が高エネルギー物理学分野に関する国際連携協定を締結し、CERN が提供する INSPIRE データベースを中心とした高エネルギー物理学分野の文献情報等の分析を行う準備を進めている。SCOAP³によってオープンアクセスとなった雑誌の APC に関する分析等、持続的なオープンアクセス支援に向けた基礎的な調査を実施する。
- ・日本の学術情報発信、機関リポジトリ等に係る事項についても、必要に応じて、オープンアクセスを推進するための調査を実施する。

(5) 平成 26 年度 SPARC Japan 年報の発行 (2) への対応

平成 26 年度の活動をまとめ、SPARC Japan 年報を発行する。

(6) 第 4 期終了後の SPARC Japan の活動の検討

- ・第 4 期の活動をまとめ、次期にむけた方針について検討をする。